

授業科目名	助産診断・技術学 (2300266)		
時間割名	助産診断・技術学 (70237)		
時間割担当	服部律子		
実施期	後期	単位数	2 選択
曜日・時限	集中		

授業の目標・概要

褥婦の身体的・心理的・社会的状態や新生児の生理的变化について、正常経過とその逸脱を独自に判断するために必要な基礎的知識を学ぶ。日常生活への適応および退行性変化を促進するために必要な援助や、褥婦が育児行動を取得するために必要となる保健指導、健康逸脱時の援助について理解し、沐浴指導などの保健指導の実際について習得する。演習については助教も担当する。

学習の到達目標

1. 産褥期の助産診断の視点とアセスメントツールについて説明することができる。
2. 産褥期の正常逸脱の徴候、そのリスク、発生時の対処法と予防方法を説明することができる。
3. 新生児期の助産診断の視点とアセスメントツールについて説明することができる。
4. 新生児期の正常逸脱の徴候、そのリスク、発生時の対処法と予防方法を説明することができる。
5. 産褥期や新生児期の助産診断のための技術をシミュレーターを用いて実践することができる。

授業方法・形式

講義と演習

授業計画

- 第1回 産褥期、新生児期の助産過程
- 第2回 産褥期の助産診断
助産診断の視点、アセスメントツール
- 第3回 産褥期の助産診断技術
褥婦の健康診査技術
- 第4回 産褥期の正常逸脱
産褥期の正常逸脱のリスク、徴候、対処
- 第5回 産褥期の助産ケア1
産褥体操、産後の生活
- 第6回 産褥期の助産ケア2
産後の家族計画
- 第7回 産後の助産ケア3
乳房ケア、母乳育児支援
- 第8回 産褥期の助産過程（事例演習）
- 第9回 新生児期の助産診断
助産診断の視点、アセスメントツール
- 第10回 新生児の助産診断技術
新生児の健康診査技術、成熟徴候
- 第11回 新生児期の正常逸脱
新生児の蘇生法
- 第12回 新生児期の助産ケア1
環境整備、保清技術
- 第13回 新生児期の助産ケア2
育児指導
- 第14回 新生児期の助産過程（事例演習）
- 第15回 まとめ

成績評価の基準

定期試験60%、技術試験30%、各授業後のリフレクション10%

授業時間外の課題

技術の習得のためには、時間外でのセルフトレーニングを行ってください。また、授業の後には必ず学習内容の復習をしてください。

メッセージ

授業で学んだことを、使えるよう整理しながら学習を進めてください。各回の授業学習した内容から、実習で使用できる「自己ノート」を作成しましょう。

教材・教科書

我部山キヨ子編、助産学講座7 助産診断・技術学 [2]分娩期・産褥期、医学書院
横尾京子編、助産学講座8 助産診断・技術学 [3]新生児期・乳幼児期、医学書院

参考書

必要に応じて、適宜、提示する。